

鯖江市地域公共交通活性化協議会 報告資料

一般社団法人 地域公共交通鯖江
2025年6月23日

報告項目

1. 利用実績について(令和6年4月1日～令和7年3月31日)
2. 令和6年4月から令和7年3月までの各数値の推移
3. ここまでの活動と今後の展開

1.利用実績について(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

利用実績

期間	令和6年4月1日	令和7年3月31日
利用登録者	213名	240名
実質利用者	45名(R5年度)	44名(R6年度)
ドライバー	4名	1名

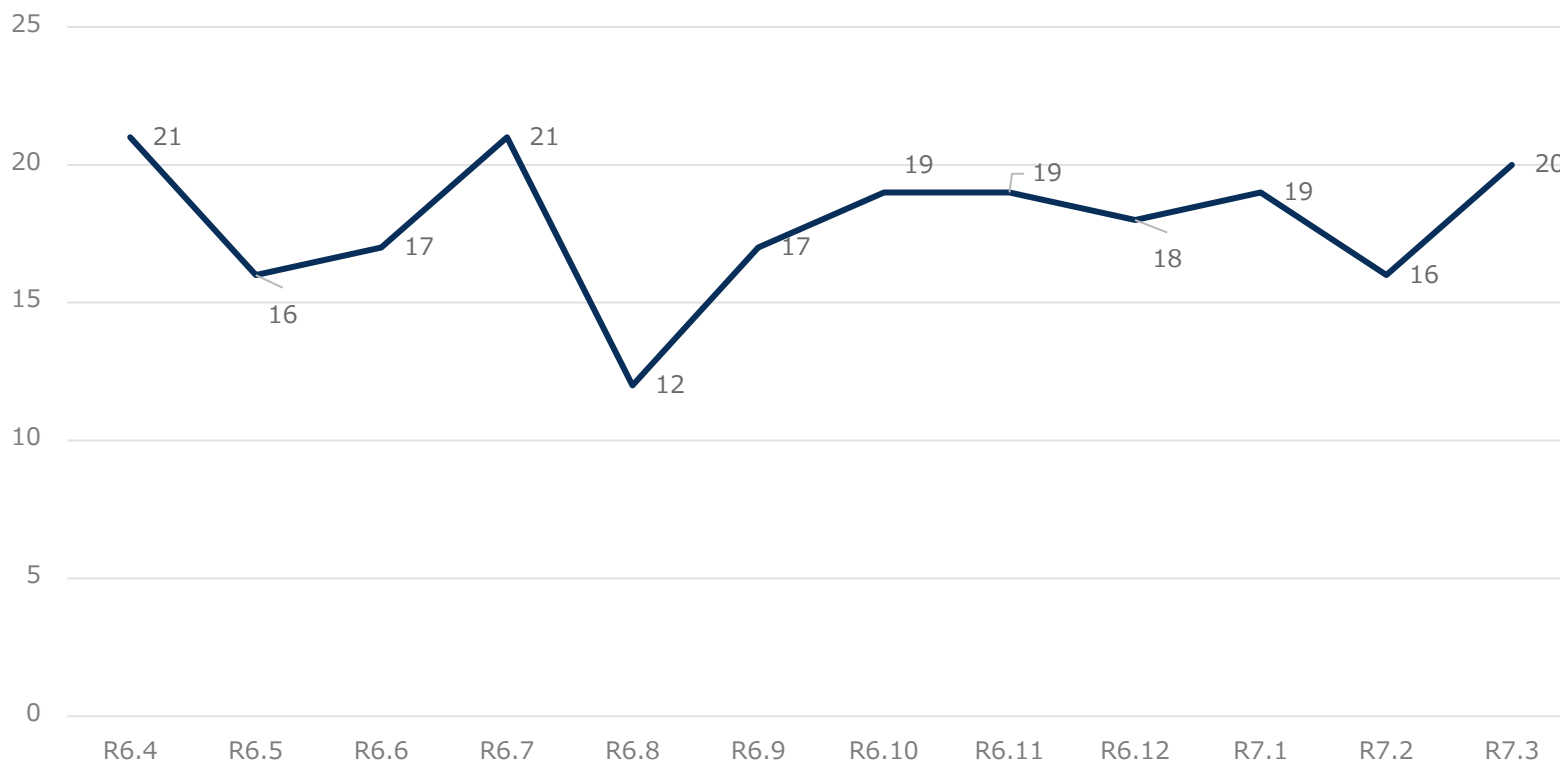
運行比較

	令和5年度	令和6年度
運行回数	680回	841回
河和田内運行	485回 (71.3%)	716回 (85.1%)
利用目的	通院・ワクチン接種 238回 買い物・娯楽・美容院・郵便局 389回 その他 53回	通院・ワクチン接種 175回 買い物・娯楽・美容院・郵便局 523回 その他 143回

2. 令和6年4月から令和7年3月までの各数値の推移

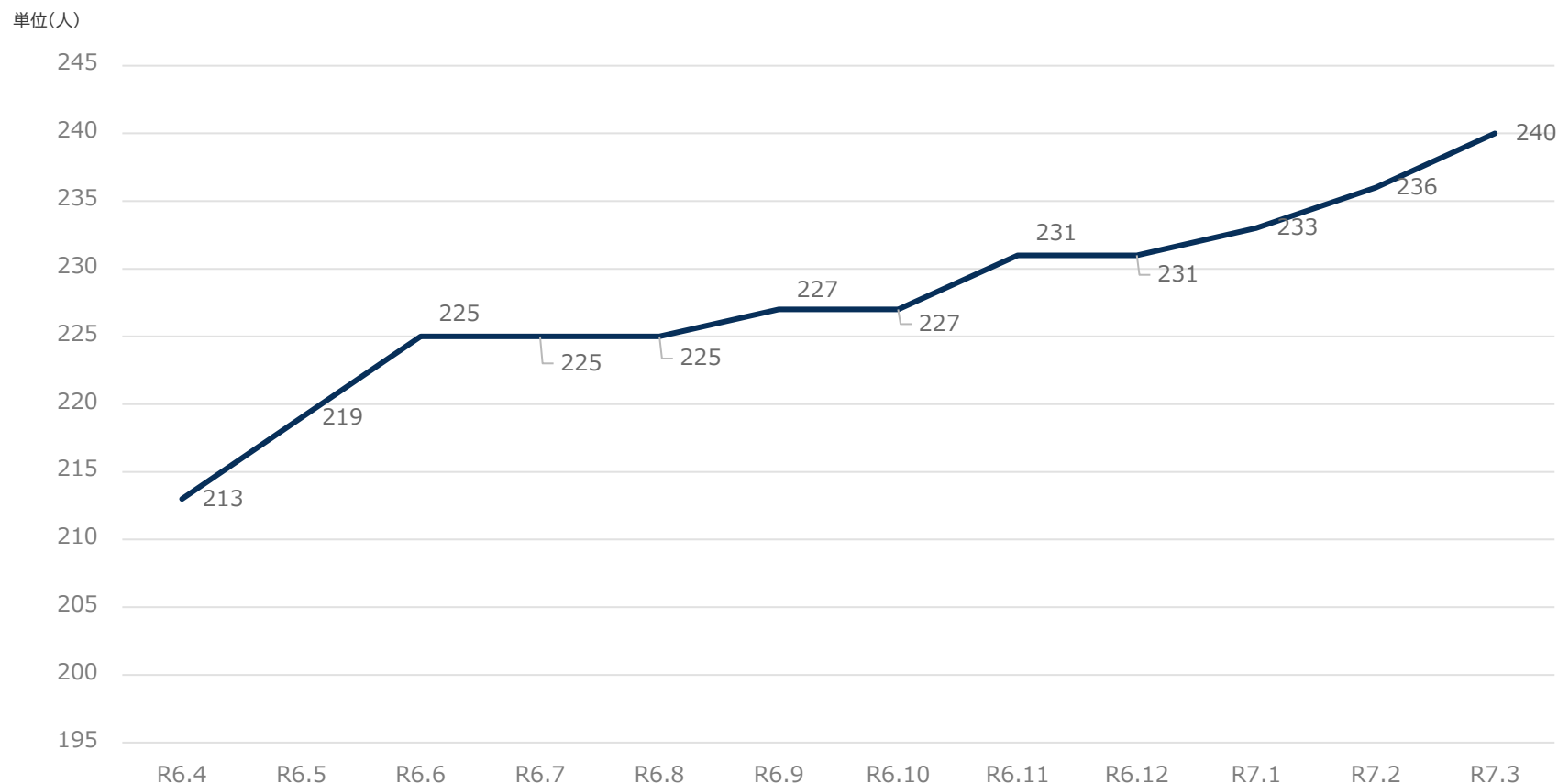
利用人数

単位(人)

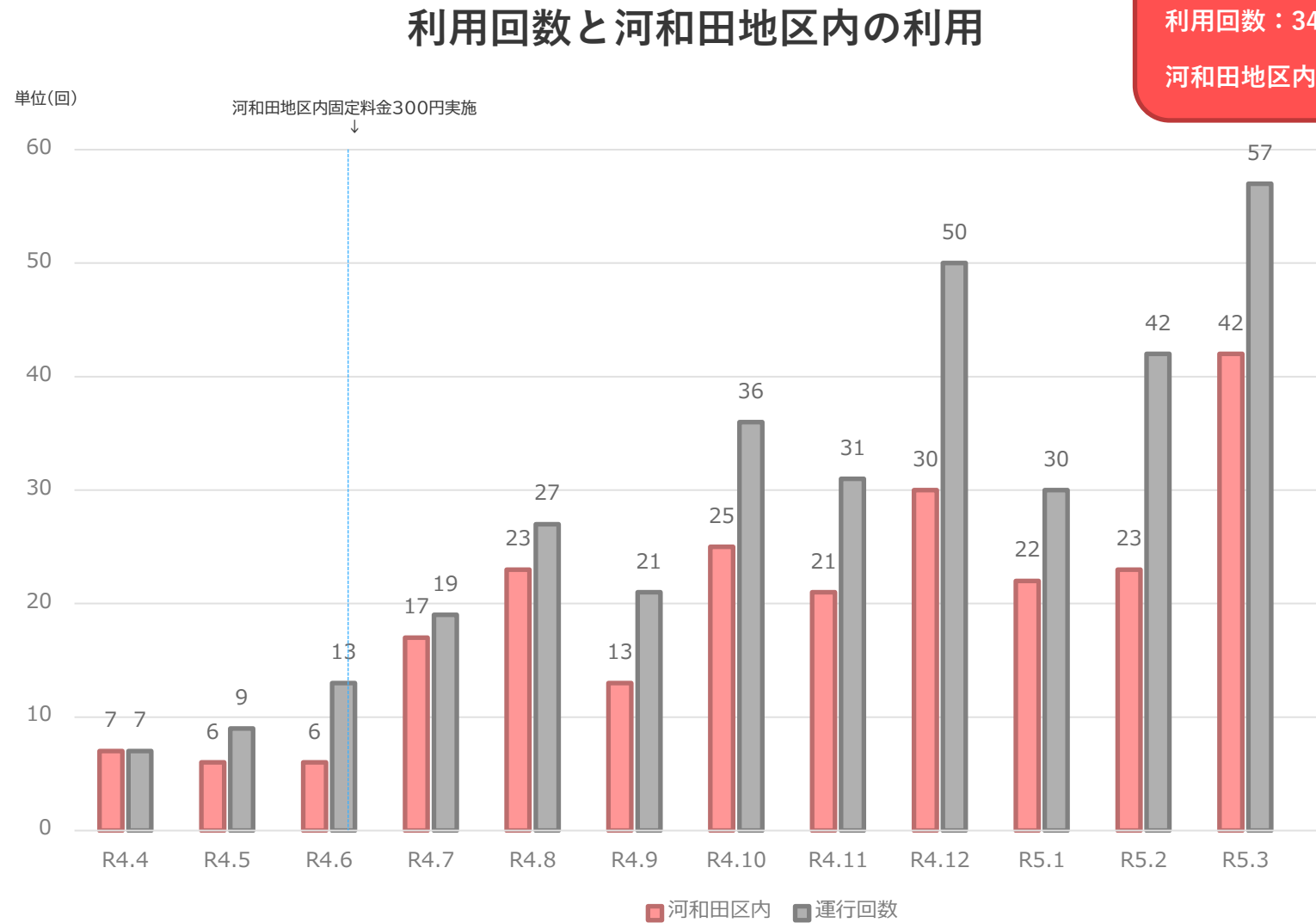


2. 令和6年4月から令和7年3月までの各数値の推移

利用者登録人数



2. 令和4年4月から令和5年5月までの各数値の推移



2年前

利用回数：342

河和田地区内：235 → 68.7%

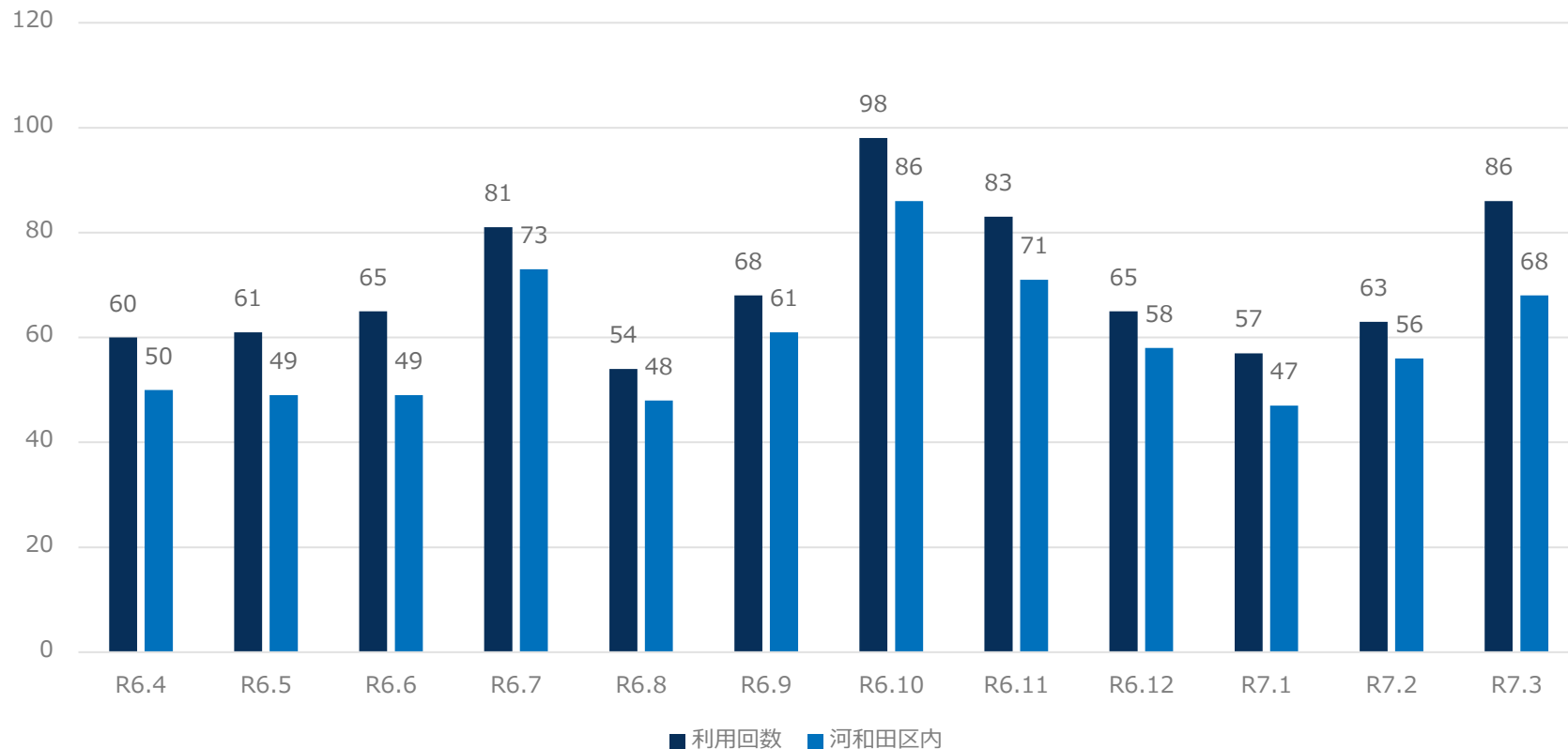
2. 令和6年4月から令和7年3月までの各数値の推移

利用回数と河和田地区内の利用

利用回数：841

河和田地区内：716 → 85.1%

単位(回)

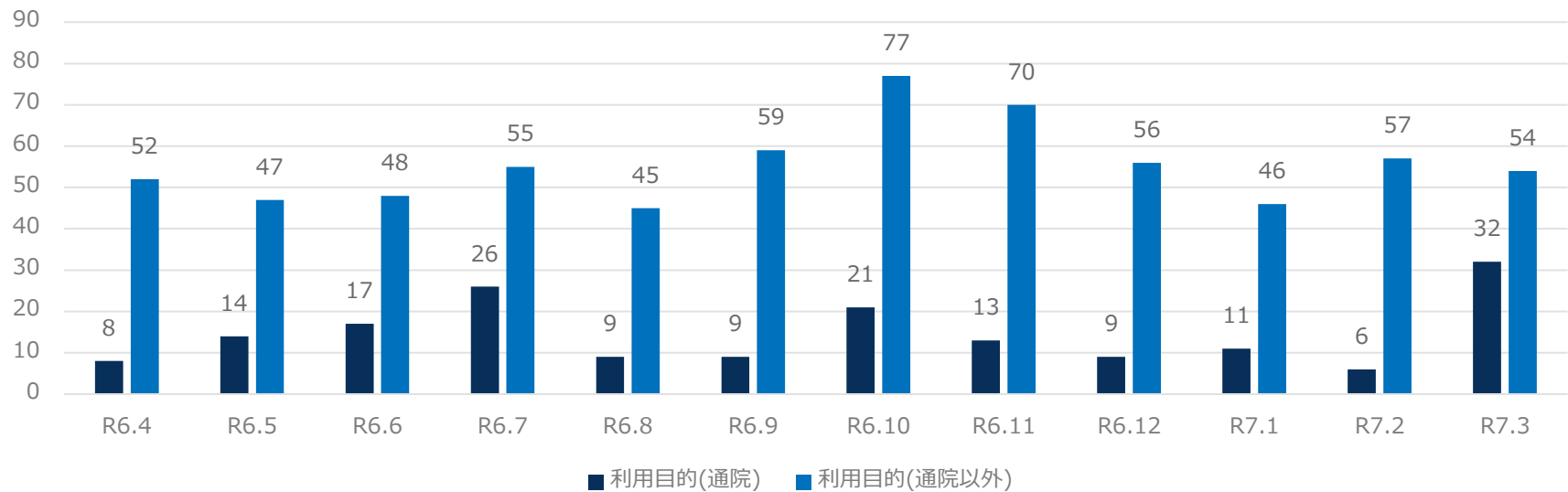


2. 令和6年4月から令和7年3月までの各数値の推移

利用目的

病院関係（通院,ワクチン接種）とそれ以外（買い物,美容院,郵便局,公民館活動,娯楽,他）

単位(人)



3.ここまでの活動と今後の展開

令和3年5月6日より、鯖江市河和田地区を発着点とし、鯖江市内で自家用有償旅客運送の運行を開始いたしました。法令を遵守しながら、安全運行の徹底や利用者ニーズの把握など、ひとつひとつの課題に丁寧に取り組み、現在に至っております。「ちょいボラ交通」が担う役割としては、「生活圏での移動手段となり、利用者の生活満足度を高め、社会的な課題を解決すること」が挙げられます。実際に、利用回数における河和田地区の割合は、2年前の68.7%から85.1%へと増加しており、地域の足として一定の役割を果たしていると受け止めております。

一方で、運行開始に向けた準備や申請、そして無償運行から始まり約5年間、地域の交通インフラとしての機能を果たすべく尽力してまいりましたが、依然として事業としての自立運営が可能な収支バランスの確保には至っておりません、引き続き厳しい経営状況が続いております。これまで自治体からの補助金を活用しながら運営を続けてまいりましたが、赤字が続いており、現状のままでは持続的な運行の継続は難しいと認識しております。

こうした状況の中ではありますが、より多くの地域の皆様にご利用いただくきっかけづくりとして、鯖江市と共同でキャンペーンを企画いたしました。初乗り運賃無料(河和田地区対象)となるチケットを、既存利用者様およびキャンペーン期間中の新規登録者様へ配布する内容となっております。上記キャンペーンに関する案内は、5月25日発行の河和田地区公民館報とあわせて、全戸配布いたしました。この機会に「ちょいボラ交通」の利便性やサービスの良さの周知を図るとともに、利用者増加の検証を行う予定です。